

大学教職員のためのスキルアップ研修(英語、多文化理解研修)

<事業概要>

留学生支援の充実や海外大学との連携事業推進など、高等教育のグローバル化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力は基礎能力として不可欠となっています。

また、多くの国と地域からの留学生には、それぞれの文化的背景があり、円滑な意思疎通を図るためには、語学を超えて、習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっています。

このため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上のための研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施することで、実務能力の底上げを行うとともに、スキルアップに対する意欲向上を図っています。



<参加者の声>

- 授業の最後に実践を意識したロールプレイがあり、座学では体感しきれない生きた英語によるコミュニケーションの機会があり、非常に得るものがありました。
- 普段の会話や打ち合わせ、会議など幅広い状況で使える、議論を深めるためのスキルを学べたこと、また参加者のみなさんの英語が上手だったので、こちらもいろいろと勉強になったので満足している。
- イスラムの教えについての知識等はもちあわせていたものの、アラブとの違いや、大学としての向き合い方、実際の困りごと等を知ることができたので非常に有意義でした。
- 講師の方の説明が分かりやすく、受講者同士の英会話も楽しく(自分の能力不足は別にして)役にたったと思います。ただ、午後からのテーマが難しく、苦戦しました。英語での会議より、もう少し日常で使うやりとりを学びたかったです。
- ディスカッションで具体的なケーススタディを指定してもらった方が、議論しやすかったかもしれません。
- ブレイクアウトルームの時間を問題の解答の量に応じて調整いただけるとよかったです。

<参加者の声を受けて改善を図った点>

- 全7回(1年)の講座テーマについて、参加者の意見を踏まえながら、2020年度は従来の”Email研修”を初級編と中～上級編に細分化、2021年度はスピーキングをメインに据えた「Everyday Communication」及び「Meeting and Discussion」を設定、オンラインによる英語教授法といったテーマを設定するなど、参加者の満足度向上、受講意欲を喚起できる工夫を行った。
- さらに、英語以外の多文化、特に京都で学ぶ留学生の約半数を占める中国文化を学ぶ機会として、2019年度から”中国文化理解研修”を、また、2020年度には東南アジアの生活習慣や歴史的背景、教育、文化、宗教観などを学ぶ研修を増設しており、2022年度においても引き続き実施することで魅力ある研修づくりに努めた。

【総括】

2022年度は、前年度の受講者アンケートの御意見も踏まえ、一部講座を対面に戻して開催する予定であったが、講座開始時期が新型コロナウイルス感染症第7波の最中であることを踏まえ、2020年度、2021年度に引き続いてすべてオンライン開催とした。例年より応募者数は減少したが、リピーターの割合が低く、新たな層に当該研修を知っていただくいい機会となった。アンケートに回答いただいた受講者の多くが「学内WEB」「学内メール」により講座の情報を知って申し込まれていることから、引き続き各大学における学内周知をお願いするとともに、国際連携業務に携わる職員はもとより、留学生の増加などによって多様化する課題に当たる一般職員にも活用いただけるよう、当財団ならではの研修として引き続き企画・実施していく。

参加者満足度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
満足(名)	81	86	99	80	61	47	37
不満(名)	0	0	0	2	2	2	0
満足(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%	96.8%	95.9%	100.0%
不満(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	-2.4%	-3.2%	-4.1%	0.0%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	95.1%	93.7%	91.8%	100.0%
参加者数(名)	86	90	102	87	77	68	46

他者推奨度

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
推奨(名)	81	81	95	78	60	44	35
非推奨(名)	0	0	0	1	1	0	1
推奨(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	98.7%	98.4%	100.0%	97.2%
非推奨(構成比)	0.0%	0.0%	0.0%	-1.3%	-1.6%	0.0%	-2.8%
DI値(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%	96.7%	100.0%	94.4%
参加者数(名)	86	90	102	87	77	68	46

※DI (Diffusion Index)値とは

「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して、単一の値に集約する加工統計手法のこと。または、この方法によって得られた指数をいう。DIは、時系列データであれば値の増加(プラス)／減少(マイナス)、サーベイデータ(アンケートなど)であれば回答を良い／悪いなどの属性に分類し、その属性の個数を集計して全系列数に占める割合などから算出する。

<http://www.itmedia.co.jp/im/articles/0707/09/news108.html>